



# オガモい通信

No. 5



小笠原村環境課 04998-2-3111

## またまた道づくり

(2019年1月7日~12日)

昨年、道づくり体験会の講師をしていただいた岡崎さん（北海道山岳整備）が今年も来島しました。おが丸到着後すぐに、オガグワの植栽地①と②をつなぐ道をスタッフとともに考え、翌日から都レンジャーやアクティブレンジャー、村役場の職員らとともに道をつくりました。



どんなルートにすると安全に通ることができるか考え中



アカギの大木伐採で出た枝を利用。階段に詰める  
といっても6人がかりで運びます。砂利運びは一工夫

5日間の作業で延べ45名の方の協力を得て、道が完成！



みんなで知恵を出し合って階段の構造を考えます。

岡崎さんから助言

丸太運びも一工夫



今回の道づくりでは、階段のステップにアカギの丸太を多用しました。

作業の合間に



都レンジャーとともに、沢沿いの赤道とつなぐ階段づくり。ロープとてこを利用して大きな丸太を移動。



# 森歩き体験学習

(2019年2月21日)

小笠原小学校4年生の総合的な学習の時間を使って、森歩き体験を行いました。児童たちはこれまでに、小笠原の身近な固有種や植物の歴史、希少な植物、それを守るための外来種対策などを学んできていました。

児童たちには、固有種も外来種も活かして村民で森づくりに取り組んでいること、オガグワが貴重なこと、自然を保全する意識をもつことを、今回の体験を通して学んでもらいました。



まずは都レンジャーによるオガグワ紹介。あんなてっぺんまで大きくなるよ。

早速、森の中を歩いてみよう。どんな植物が生えているかな。

せっかくだから、オガグワの苗にお水あげよう。大きく育ってくれるといいね。



森の南にある沢まで下りてみた。

どんな生き物がいるかな。

最後はつる性植物デリスのターザン

## オガグワの森オープンに向けて

(2019年3~4月)



ある日、時雨川上流の土木現場からオガグワ？の根っこが出たと連絡

オガグワだと確認されたので、建設会社協力のもと森へ移送

クレーン車で入り口横に設置



看板もやっと設置

後は春のイベントを待つのみ

村長が植えたオガグワ苗がヤギに食べられてしまう！



# 森づくり体験会

(2019年5月6日)

3月16日、春のイベントを企画しましたが、この少雨の時期にもかかわらず、雨天延期となり、4月27日に再び企画したところ、またまた雨天延期。G.W.最後の日にやっと開催することができました。参加者21名（うち子ども3名含む）、スタッフ8名に参加いただきました。

まず、3隊に分かれ、それぞれの隊にオガグワ苗の計測、丸太イスづくり、入り口の片付けを行っていただきました。休憩中には、1月に作った道を周遊し森の南の沢まで行きました。後半は雨に降られてしまいましたが、無事にオガグワの森に自由に出入りできるようになりました。



毎回恒例、都レンジャーオガグワ愛を語る



野生研の方もオガグワの苗愛を語る



村長の苗はヤギ対策万全に



色々  
づくり隊

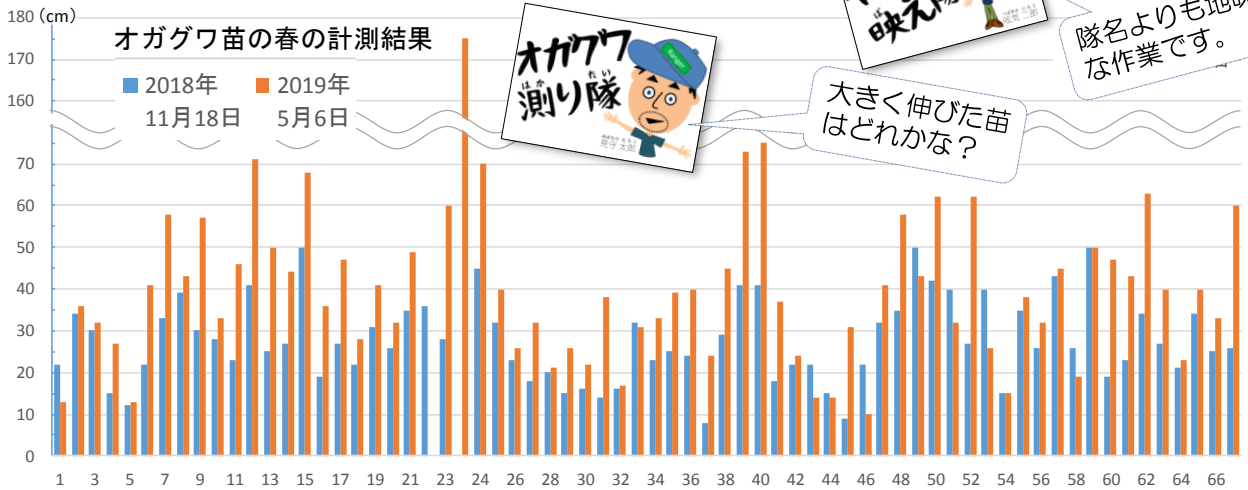
カラフルなイス  
になってきた!



アイス隊



隊名よりも地味な作業です。



オガグワ  
測り隊

大きく伸びた苗はどれかな?



森を周遊。前日の雨で滝が出現。



案内プレートも各所に設置



雨に降られてしまいましたが、皆さんいい笑顔





# オガモイ通信

No. 6



小笠原村環境課 04998-2-3111

## 森づくり体験会

(2019年8月31日)

今回の裏テーマは「大人の本気の遊び」。前回同様、3隊に分かれて作業を行いました。参加者26名（うち子ども7名含む）、スタッフ6名に参加いただきました。



隊長指揮で作業  
炎天下の中、お疲れ様です



オオコウモリの餌場づくり  
(レモン苗の植栽)



オガモイ守り隊



まずはパッションのつる掛け



くつつき虫  
アレチヌス  
ビトハギの草抜き  
服にたくさん付くと大変



子どもはイス、  
大人は杖づくり



アカギの芽かき



ここからは大人の本気作業



休憩中は沢まで散策



2016年3月



今年8月



9月

構想3年?!にしてパッション棚完成

## 農大ボランティアによるイベント準備

(2019年8月29日)



苗まわりの草抜きとネズミ食害対策  
に囲い天井にネットを取り付け



植栽地まわりのデリス  
(毒ヅル)を引き抜き



完成イメージ

アレカヤシの幹を使って  
パッション棚の土台作り





# オガモい通信

No. 7



小笠原村環境課 04998-2-2270

## 冬の地ならし体験会

(2020年2月29日)

次の梅雨の時期に新たな植栽を行う予定地の地ならしと2018年の植栽木の囲いの補修を行いました。今回は参加者21名（うち子ども6名含む）、スタッフ7名に参加いただきました。



まずは都レンジャーからクイズ形式のオガグワ紹介



オガグワボックス 開店  
メニューはホットティ、  
ホットココア、みそスープ



2~4人のグループに分かれて囲いの補修  
支柱を支える人・打つ人…1人じゃできません



作業後

休憩時間にフラフープ♪  
こどもは遊びを考える天才!



作業後



囲いの補修に続いて、キバンジロウ  
の伐採でも、こどもたちが大活躍

休憩後は、沢をマルハチにとって良い  
環境にするため、アカギの切り株から  
出た芽や根を取り除きます。



どれが木のように  
大きく育つかな?



沢沿いに出ていたシダの実生



# 台風後の森の様子

(2019年11月~2020年4月)

2019年10月、複数の台風が父島を通過し、オガもりのアカギやガジュマル、ヒメツバキなどは折れ枝や少しの倒木がありました。植栽木は幸いにもオガグワの落葉期と重なったため、少しの被害にとどまりました。

11~4月には、台風後の囲いの補修や折れ枝の片付けをスタッフで行いました。



アカギ大径木伐採 (2020年2~3月)



道路沿いもついでに草刈してスッキリ 植栽地①がとっても明るい場所に



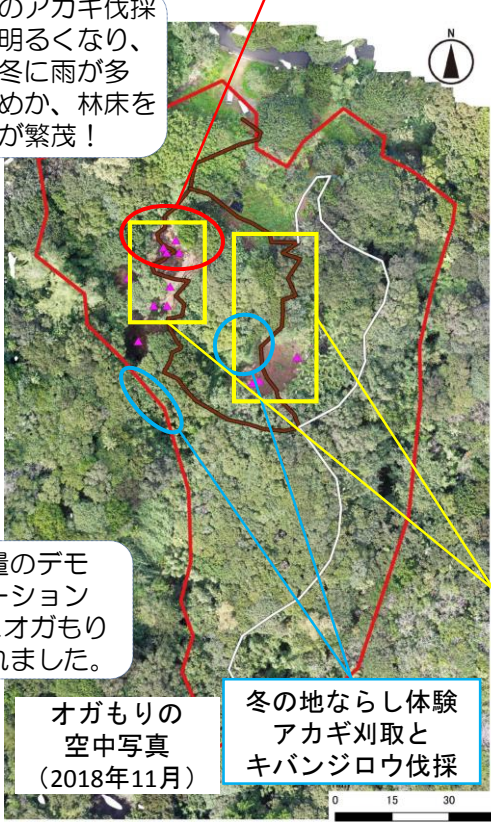
伐採材がたくさん！何に使おう？

2020年1月の植栽地①

2018年のアカギ伐採で林冠が明るくなり、2019年冬に雨が多かったためか、林床をチゴザサが繁茂！



3次元測量のデモンストレーション (3月) にオガもりが利用されました。



オガもりの空中写真 (2018年11月)

冬の地ならし体験 アカギ刈取とキバンジロウ伐採

囲いの補修

2019年11月の植栽地② (台風直後)



2019年11月の植栽地① (台風直後)



2020年1月 同じ人



2020年4月の平地



冬のイベント前に スタッフで囲いの補修作業

役場職員も空いた時間に台風後の片付け作業 →だいぶ片付けました